

3月 Vol.32
H25



とよたち
Sana

たくさんの満開の花にかこまれたおひなさま。
おだいりさまとおひなさまの微笑んだ表情、くりっとした目のかわいらしい表紙です。
本を読むこと、体操とチアリーディングと体を動かすのが大好きな女の子。ブリッジや側転することが得意な瞳のきれいな女の子が描いて下さいました。



医療法人 優慶誠会

豊郷たちかわ皮膚科クリニック*

受験シーズン真っ只中、各学生は希望校合格を目標に頑張っておられます。私の好きな野球に目を転じると、WBC連覇を目標に日本を代表する一流のプロが頑張っています。

さて、日常生活の中でも「頑張りたいです」という言葉をよく耳にします。あらためて考えてみると人間は一樣に、頑張りたいという欲求は殆んど大多数の人が思うことではないでしょうか。では頑張っている人とそうでない人、もしくはそう思っている人も頑張ることが出来ない人とでは何が違うのでしょうか。それは「労」を惜しみ「楽」へ逃げるかどおうかにあると思います。では「労」を惜まず「楽」へ逃げない人に共通するのは何でしょうか。

それは、大きな「希望と目標」を持っていることです。

そして「希望と目標」を実現するためには3つの要諦があると思うのです。1つは「熱意」を持つこと。私は熱意のない所には何も生まれないと考えています。熱意の先に生産性があるはずです。松下幸之助がこんなことを言っています。「二階にのぼりたいなあではまだまだである。なんとしても二階にのぼりたい。そんな熱意がはしごを生み出す」。

しかし、熱意だけで持ってもダメです。それは誤った方向に行くことがあるからです。そこに必要となってくるのが「誠意」や謙虚や感謝の心です。3つ目に必要なのは「創意」です。少しずつでも日々前進するために創意工夫をしようと考えます。しかしこれだけしっかりした「熱意・誠意・創意」を持っていたとしても困難は次々と脱兎の如く来ては去り、心が折れることがしょっちゅうです。これを跳ね返す為には「信念」を持たなければなりません。信念とは、「思う心」「信じ念じること」です。自分の熱意・誠意・創意を信じ続けることです。

今、若者の離職がメディアでもとり上げられ定職につかない人が多くいることは知られた事実です。しかしメディアはこれを個人の問題だとは言いません。必ず国のせいになります。それは本当でしょうか。私はそうは思いません。親子の問題の様な気がします。親が子に希望や目標を描かせ信念に基づいた熱意・誠意・創意を持ち続ける教育をすれば一変すると思うのは私の間違いでしょうか。

今まで少なからず面接をしてきた中で思うことがあります。面接中「がんばりたいです」という目には、少なくとも「信念」「熱意・誠意」（創意までは私には分からない）を感じることが少ない様に思うのです。

再び松下氏のこんな言葉を紹介します。

「根無し草に花は咲かない。信念がなければ人生に花は咲かない」

院長：刀川 栞